

JAL愛媛原告を支える会



ニュース



発行：JAL不当解雇とたたかう愛媛原告を支える会
連絡先：愛媛自治労連会館3F愛媛労連内
松山市三番町8-10-2 Tel 089-945-4526



八幡浜駅で見かけたユルキャラ列車

暑中お見舞い申し上げます
いつもご支援ありがとうございます。
参議院選挙に続いて東京都知事選挙と、立候補者の熱い声が暑い日差しの中に響く今日この頃です。
昨年2月、最高裁への上告が棄却され、私たちの主張は認められませんでした。依然として解決交渉が開始されず、事態は遅々として進んでいません。

”あの整理解雇は間違いだった”

伊方町出身 二宮斉子

法治国家の日本において、裁判所の決定が下った以上、状況は認めざるを得ませんが、「社会通念上合法」であったとしても、あの時の場所で起こったことは納得のいくものではありません。
「あなたたちはこれからどうしたいの」「何を求めているの」と周りの人からよく聞かれます。私の思いは、あの整理解雇は間違いだった」と認めてほしい、ただそれだけです。
あれから、早や5年半以上の月日が流れました。これから解決までのかなりの時間の間がかかると分かっていますが、みんなそれぞれに取り巻く環境が変わってきていますが、共通する思いは変わらないと思います。
これからもご支援よろしくお願いいたします。

JAL闘争団に熱いエールを

国鉄うたごえサークル 四国トレインズ

田口俊郎

私も
応援
します

労働者に対する解雇がいたるところで多発しています。

支援のなかで、何故、あんなに素敵な人たちの首を切るのか・・・？ 被解雇者の苦しみや悔しさに胸が痛みます。それにしても、本当に折れない心に、ただただ頭が下がります。仲間の支えがそうさせるのでしょうか。

会社側の一方的な施策のなかでつくられた赤字。そのもとで、人生を狂わされ、取り返しのつかない時間をどうしてくれるのでしょうか？まさに、被解雇者にとって返らない途方もない時間。

私たちも、30年前に同じような目にあい、それが、後の解雇のスタイルとなりました。国の施策で赤字がつくられ、その責任を一方的に労働者に転嫁し、労働者の生活権を奪う。そうして、物言う労働組合・労働者の首を切る。この国は、本当にどうなっているのか。どうなっていくのか・・・？働く者を大切にしない会社、社会に未来がないことは歴史が証明しています。

私たちも、交通運輸の仲間として、このたたかいが利用者の命に直結するたたかいであることを

知っています。利益優先の先には第二の御巢鷹山のような事故が再び起きないとも限りません。命を運ぶ公共輸送にとって、最も大切なものが何であるのか。絶えず、考えながらたたかいを進めていくことが大切です。そして、そのたたかいには終わりがありません。

解雇された人たちにどれだけ寄り添うことができているのか、いつも自問自答しています。そうした労働者をつくらない、つくりせない社会をめざして、粘り強くたたかいを支援していきたいと決意を新たにしています。

2016 東奔西走、熱い夏

千葉舞浜での J A L 株主総会会場前で訴える原告ら（6月22日）



（J A L 不当解雇撤回ニュースより）

第59回えひめ母親大会で支援を訴える原告ら（6月5日）



県庁前での
J A L ・ 社保庁
合同宣伝参加者
（6月15日）



突然の嵐のなかでの J A L 本社前行動（7月14日）



（J A L 不当解雇撤回裁判原告団 Facebook より）



高知
反核平和コンサート
（7月12日）

